

学校長あいさつ



本校は、聴覚障がいを対象とした特別支援学校です。本校は、明治44年の私立岩手盲啞学校の設立から、数々の変遷を経て、現在の岩手県立盛岡聴覚支援学校となっております。また、昭和51年に現在の盛岡市乙部に移転し、単独の聴覚支援学校としては全国一の敷地の広さを誇っております。さらに、令和3年に創立110周年を迎えた歴史の中には、昭和12年にヘレン・ケラー女史が来校し、聴覚障がいの児童が代表で花束を贈呈したとの記録もあります。

本校には、幼稚部・小学部・中学部・高等部があり、寄宿舎を設置しています。令和7年度は、全校26名（幼稚部3名、小学部4名、高等部18名、専攻科1名）の幼児・児童・生徒が在籍しております。子どもたちは、「明るく 強く 正しく」の校訓のもと、それぞれの発達段階に応じた学習活動と年代を超えた交流を行いながら、将来の社会的自立に向け元気に学校生活を送っています。

教育活動においては、補聴器や人工内耳を装用した子どもたちが確実に情報を得るための方法として、補聴援助システム（ロジャー）を導入しています。また、全校集会や行事等の際には、手話通訳と並行して文字情報をスクリーンに映し出すなど、充実したコミュニケーション環境を整えています。

進路指導においては、高等部卒業後を見据え、就職（民間・公務員）や大学進学等の様々な進路目標を実現するため、一人一人の個性や能力に応じた丁寧な指導を行うとともに、高等部卒業後も継続した学びを希望する生徒のために「専攻科」を設置しており、職業能力の更なる向上を図っています。

また、県内における聴覚障がい教育のセンター校として、0歳児から幼稚園や保育園・小学校・中学校・高等学校等に在籍する聞こえない、聞こえにくい子どもたちのために支援を行っています。

この素晴らしい教育環境のもと、本校の子どもたちや県内の聴覚障がいを抱える子どもたちのために、職員一同、誠心誠意努力してまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様、関係団体の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年4月

校長 伊東 理俊